いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

岡山県の地震
令和4年(2022年)10月

目　次

○岡山県及びその周辺の地震活動（10月）
震央分布図及び断面図　… 1
概　況　… 1
岡山県において震度１以上を観測した地震の表　… 2
岡山県において震度１以上を観測した地震の震度分布図　… 3

○地震防災メモ　No.202
緊急地震速報の発表基準に
長周期地震動階級を追加することについて　… 4

●「岡山県の地震」は、月１回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

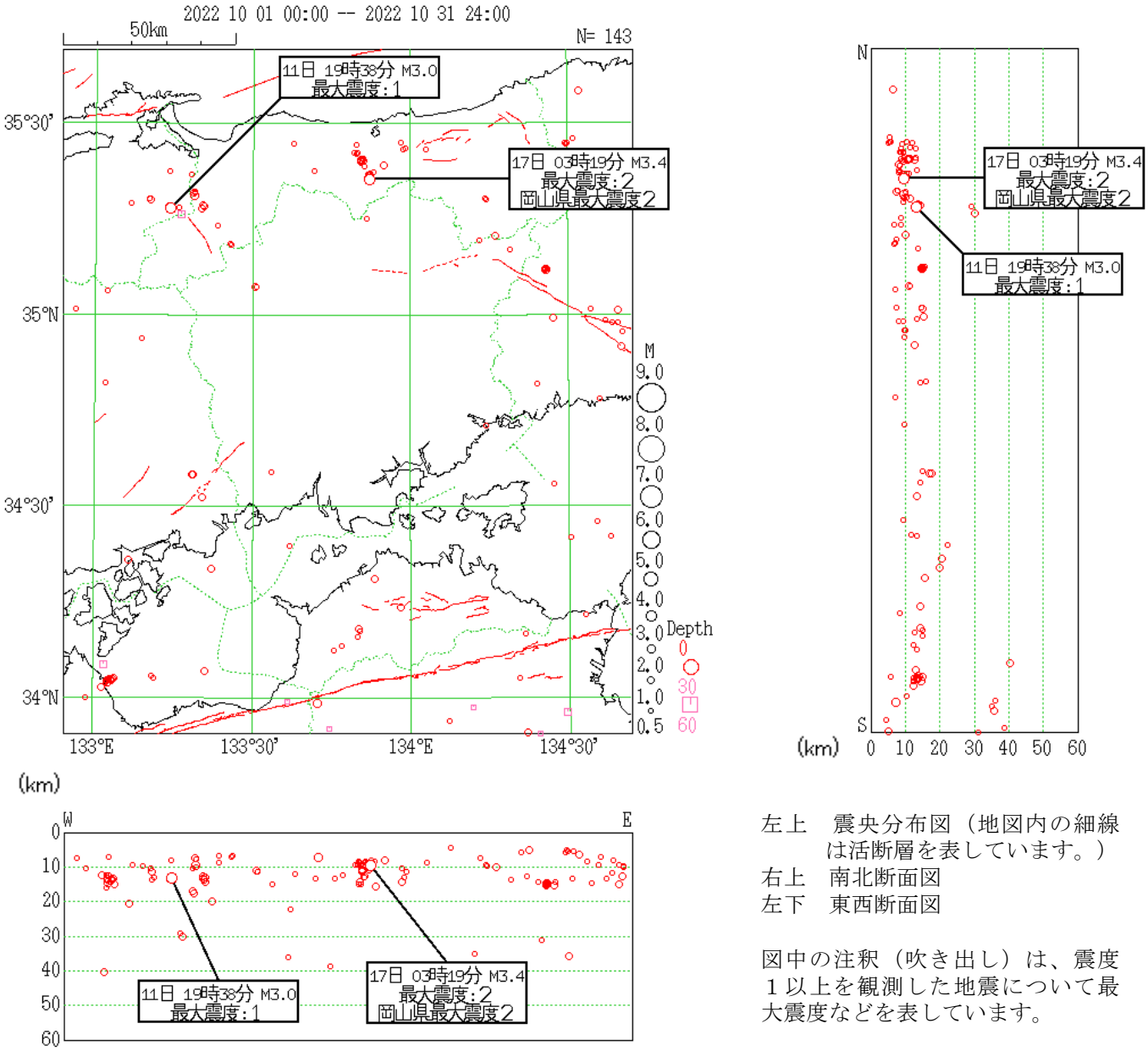
●この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

●本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(10月)

震央分布図及び断面図



左上　震央分布図（地図内の細線は活断層を表しています。）
右上　南北断面図
左下　東西断面図

図中の注釈（吹き出し）は、震度１以上を観測した地震について最大震度などを表しています。

概況

10月の概況
- 上図の範囲内に震源があり、10月に震度１以上の揺れが観測された地震は２回（前月：２回）でした。
- 岡山県で震度１以上の揺れが観測された地震は10月中に２回（前月：１回）あり、そのうち震央が上図の範囲内の地震は１回、範囲外の地震は１回でした。

岡山県において震度1以上を観測した地震の表（10月）

2022年10月02日00時02分　大隅半島東方沖　　31° 18.7' N　131° 31.3' E　29km　M5.9
---------- 地点震度 ----------
岡山県　震度 2 : 真庭市蒜山下福田＊
　　震度 1 : 真庭市蒜山上福田＊,倉敷市水島北幸町＊,岡山南区浦安南町＊

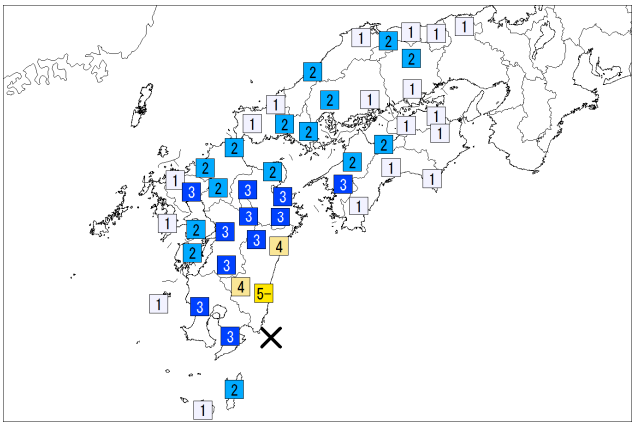
2022年10月17日03時19分　鳥取県中部　　35° 21.1' N　133° 52.1' E　10km　M3.4
---------- 地点震度 ----------
岡山県　震度 2 : 鏡野町上齋原＊
　　震度 1 : 鏡野町井坂＊,真庭市禾津＊,真庭市豊栄＊,真庭市蒜山下和＊,真庭市蒜山下福田＊

注）１　内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。
　　なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報（カタログ編）』に掲載されます。
　２　地名に＊印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。
　　なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

岡山県において震度１以上を観測した地震の震度分布図（10月）

2022年10月02日00時02分　大隅半島東方沖の地震

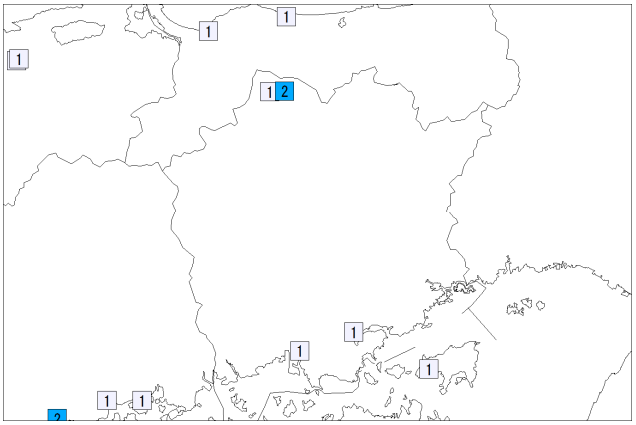
各地域の震度分布



×は震央

凡 例
震度７
震度６強
震度６弱
震度５強
震度５弱
震度４
震度３
震度２
震度１

岡山県及び周辺観測点の震度分布

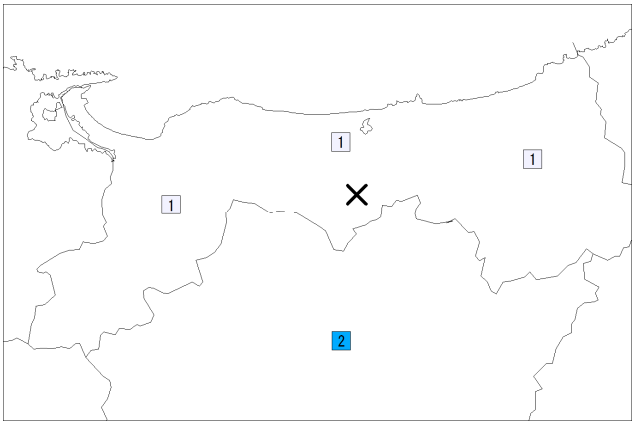


＜地震の概要＞

この地震により、宮崎県日南市(にちなんし)で震度5弱を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度4～1を観測しました。

2022年10月17日03時19分　鳥取県中部の地震

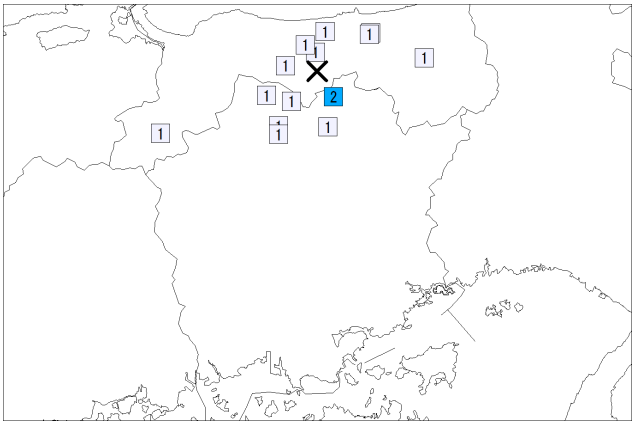
各地域の震度分布



×は震央

凡 例
震度７
震度６強
震度６弱
震度５強
震度５弱
震度４
震度３
震度２
震度１

岡山県及び周辺観測点の震度分布



＜地震の概要＞

この地震により、岡山県鏡野町(かがみのちょう)で震度2を観測したほか、鳥取県、岡山県で震度1を観測しました。

地震防災メモ　No.202

緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級を追加することについて　～ 令和5年2月1日 開始予定 ～

概　要＞

現行の緊急地震速報は、予想される震度に基づいて、発表の要否や対象地域を判定しています。

令和5年2月1日より、発表基準や対象地域の判定条件として、長周期地震動階級の予想値を追加して運用することになります。具体的には、長周期地震動階級3以上を予想した場合にも、緊急地震速報（警報）を発表します。

緊急地震速報（警報）の発表基準

発表基準	震度５弱以上を予想した場合 ＋（または） 長周期地震動階級３以上を予想した場合
対象地域	震度４以上を予想した地域 ＋（または） 長周期地震動階級３以上を予想した地域

赤文字 が追加変更となる部分

長周期地震動とは＞

長周期地震動とは、大規模地震の際に生じる、ゆっくりとした大きな揺れ（周期が長い揺れ）のことをいいます。大規模地震では、周期の長い地震波が、震源域から遠く離れた場所まで伝わり、高層ビルなどを大きく長時間揺らし続けることがあります。この時、地表面近くの揺れ方は大したことがないのに、上層階では大きく強く揺れるといったことがあります。

地表付近の「震度階級」が比較的周期の短い揺れを対象とした指標であるのに対し、高層ビルの上層階などの揺れの程度を表現する指標として用いられるのが「長周期地震動階級」です。

この「長周期地震動階級」は4つに区分されており、階級1から階級4までがあります。それぞれの区分の内容については、下図を参照ください。

長周期地震動階級

「知ってる？長周期地震動のこと」より抜粋

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/choshuki_leaflet/choshuki_leaflet.pdf

令和５年２月１日以降も緊急地震速報を見聞きしたら、これまでと同じように、あわてずに身の安全を確保してください。